

経直腸的前立腺生検術 = 説明と承諾書 =

生検の目的 直腸診、血液検査 PSA（前立腺特異抗原）に異常値を認める場合、前立腺がんの疑いがあり、その病理検査を目的に行います。

検査方法 御年齢の若い方、既往歴のない方は、日帰り検査が可能です。

超高齢の方、抗凝固剤ステロイド剤内服中の方、糖尿病の方は合併症の発熱が強くできる可能性があり、連携病院での検査をお勧めいたします。

検査時の痛みを軽減するために、**仙骨麻酔の併用**が可能です。麻酔後は約 1 時間程度院内で御休憩後、下肢の麻酔の影響のないことを確認後、帰宅して頂きます。 お車での来院はお避けください。

ベッド上で横向きの状態で、肛門より超音波探触子を挿入し、前立腺を観察しながら、約 6-12 か所の組織採取を行います。検査時間は 10 分程度です。

- 合併症**
- 1 頻度は低いですが、急性前立腺炎のために高熱が出現することがあり、検査後は抗生剤の点滴 内服をしていただきます。
 - 2 血尿、血便、血精液症がみられることがあります。通常は問題ありませんが、肛門からの出血が高度で直腸粘膜の内視鏡的クリッピングを必要とした報告もありますが、非常に稀とされています。
 - 3 一時的に尿勢が低下することがあります。

病理検査結果は約 10 日間程度かかります。食事、入浴などの日常生活は普段どおりで結構ですが、アルコール摂取はお控えください。万一、発熱、血尿の強い際には御連絡ください。

早期がんの場合、前立腺がんの容積が小さいためにガンが見つからないことがあります。生検でガンが見つからなくても、引き続き、前立腺の異常を観

察することが重要です。

ももたろう腎泌尿器科クリニック 医師 船橋 健二郎 H 年 月 日

以上のことを理解し、検査を受けることに了承します。

患者氏名

H 年 月 日